

地方創生事業への積極的参画

- ホームグラウンドである山形県、秋田県における持続可能な地域社会実現に貢献するため、自治体と協働の上、新たな街づくりや再開発、移住定住施策のほか、東南アジア向けの県産品輸出、交流人口の増加など、地方創生に係るプロジェクトに主体的に関与

両県の地方創生に向けた取り組み

①秋田版CCRCの形成



秋田駅西口CCRC拠点
(住まい・賑わい・健康
移住促進・多世代交流)

③酒田駅前再開発



酒田駅前の再開発エリア「光の湊」に
誕生した 交流拠点施設ミライ

ファイナンスアレンジャーとして資金調達を支援

②由利本荘市一番堰プロジェクト

官民金連携による新しい街づくり
(由利本荘市、TDK、地域企業、北都銀行)



内閣府 第3回地方創生SDGs金融表彰

タイ王国を起点とする海外展開支援



山形県タイ友好協会

秋田・タイ王国友好協会

④魅力ある庄内地域づくりに関する連携協定



荘内銀行、山形大学農学部、東北公益文科大学、
鶴岡工業高等専門学校による、魅力ある庄内地域
づくりのための相互連携



友好交流の一環としての桜植樹

秋田牛のプロモーション

両行が、山形県、秋田県それぞれのタイ友好協会の事務局として、
県内自治体、事業者のインバウンド需要喚起、販路拡大をサポート

再生可能エネルギー事業のご支援

- 陸上・洋上風力発電事業（㈱ウェンティ・ジャパンと連携）、バイオマス発電プロジェクト及びメガソーラー発電所などを積極的に支援
- プロジェクトファイナンス手法を活用し事業の計画段階から主体的に関与することはもとより、自治体や関係機関と連携しながら地域の主要産業育成、産業振興につなげる

④山形県 太陽光発電及び日本初の肥育牛バイオガス発電所「東北おひさま発電」



③山形県「もがみ木質バイオマス発電所」



①秋田県「潟上ウインドファーム」



②秋田県 風力発電所リブレース事業「ユーラス西目ウインドファーム」



⑥富山県入善町沖洋上風力発電事業（洋上風力発電事業向けプロジェクトファイナンスを地銀として初めて組成）



⑤宮城県「SGE T栗原メガソーラー」



持続可能な地域社会の実現に向けて

子育て支援による働きやすい職場環境づくり

- 全従業員が能力を十分に発揮できる仕組みづくり、仕事とプライベートのバランスを取りながら安心して働き続けることができる職場づくりに注力
- 荘内銀行は、企業内保育施設を設置し、育児と仕事の両立支援に関するガイドブックの策定、育児休業から復帰する従業員を対象とした相談会の開催など育児支援施策を実施
- 北都銀行は、これから子育てをするプレパパ・プレママや子育て中のパパママを対象に、子育てのポイントを学ぶ「プレパスクール」へ参加



公益信託 荘内銀行ふるさと創造基金

- 2001年に当基金を創設して以来、山形県内の学校教育、社会教育、文化的活動に取り組む団体に対し助成金を贈呈し、地域の社会課題解決を支援
- 2025年までに、総応募件数約2,500件に対し、1,082件の助成実績



荘銀 かねやま絆の森

- 2010年から「荘銀かねやま絆の森」（金山町）を拠点に、山形県、金山町、地元林業者の有限会社三英クラフトと連携し、森づくり活動を実施
- 現地活動に加え、再生可能エネルギーやカーボンニュートラル、SDGsをテーマにしたワークショップなども開催
- サステナブルな社会の実現に向けた実践の場、学びの拠点として多くの行員が参加

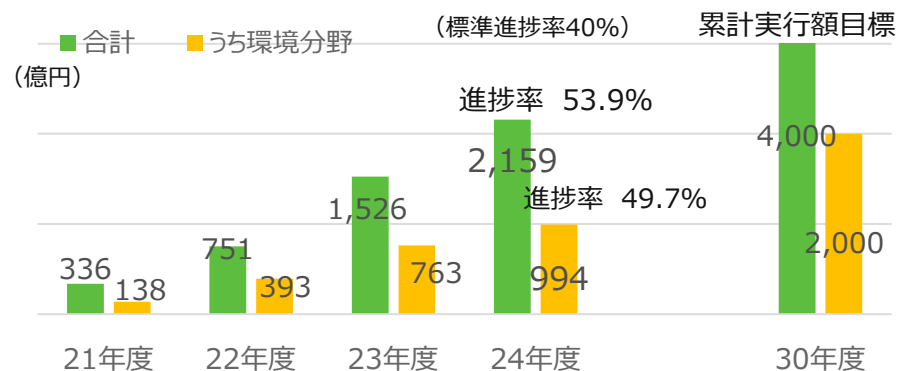


サステナビリティ経営（サステナブルファイナンスの状況）

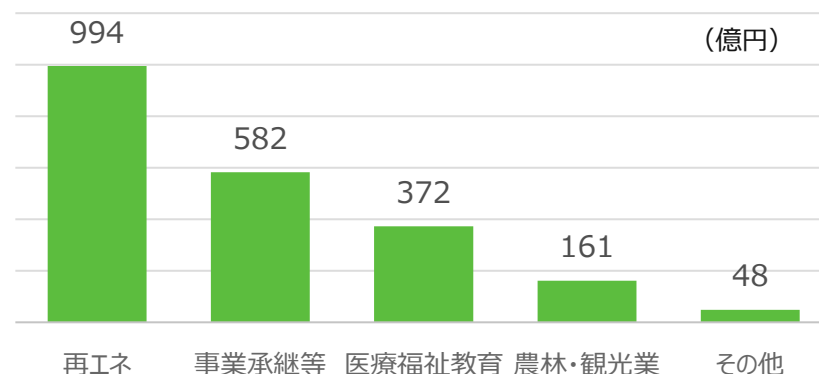


- 気候変動への対応を含む持続的な地域環境づくりを、フィデアグループのマテリアリティの1つと捉え、積極的に脱炭素経営の支援に注力。
- 投融资方針に基づき地域社会および地域経済の持続的な発展に向け、サステナブルファイナンス（対象事業：省エネ・再エネ、森林保全、少子化に対応する教育、医療・福祉、地域産業振興、防災・減災等）に対応。
- 2030年までの累計実行額目標4,000億円（うち、省エネ・再エネ、森林保全など環境分野2,000億円）に対して、2024年度までの実績は2,159億円、進捗率53.9%。

サステナブルファイナンス 累計実行額

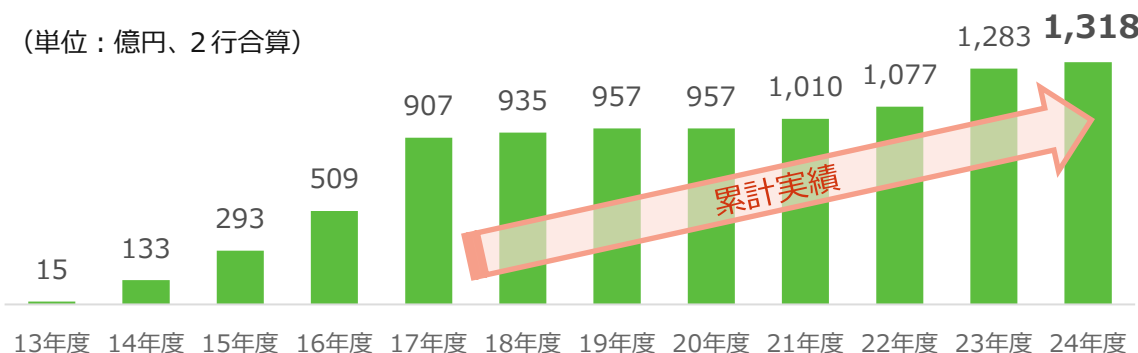


（2024年度 累計実行額の内訳）



再生エネルギー事業関連 プロジェクト・ファイナンス 組成実績

（単位：億円、2行合算）



- 秋田県においては恵まれた風況を活用し、風力発電事業が盛んになっており、北都銀行を中心に、太陽光発電事業、木質バイオマス発電事業も含め、プロジェクト・ファイナンス組成に積極的に取り組み中。
- 2023年には、提携先である㈱ウェンティ・ジャパンが富山県でおこなう洋上風力発電事業についてプロジェクトファイナンスを組成。地方銀行が洋上風力発電事業向けの融資契約を組成する全国初の事例となった。

山形市、鶴岡市、酒田市との包括連携協定



- 荘内銀行は、山形市、鶴岡市、酒田市とそれぞれ、地方創生推進と市民サービス向上に向けて、観光振興や再生可能エネルギーなどに関連した包括連携協定を締結いたしました。包括連携協定は、お互いの人的・物的ネットワークやノウハウを生かして、人口減少や若年世代の流出など様々な地域課題の解決、地域活性化のために協働していくことを目的としています。
- 観光利用や脱炭素ライフスタイルに向けたコミュニティサイクル事業への支援、出羽三山や加茂水族館などの観光情報発信、鳥海山・飛島ジオパークの世界ジオパーク認定や移住定住促進プロモーションに関連した連携などを計画しています。



地方創生及び起業創業支援のためのファンド創設

- 当社グループは、エクイティの面からの事業者支援を目的として、「フィデア地方創生第2号ファンド」、「フィデア企業成長支援ファンド」を設立いたしました。
- 2021年に設立した「フィデア地方創生ファンド」は、これまで山形・秋田県内の企業15社へ投資した実績があります。引き続き、地元事業者の皆さまの多様化するニーズにお応えするハンズオン支援や、スタートアップ企業向け事業支援により、地域経済の活性化に貢献してまいります。

フィデア地方創生ファンド第2号 投資事業有限責任組合

ファンド総額：5億円

設立日：2024年12月25日

存続期間：10年間

無限責任組合員：フィデアキャピタル

有限責任組合員：荘内銀行
北都銀行

フィデア企業成長支援ファンド 投資事業有限責任組合

ファンド総額：20億円

設立日：2024年12月25日

存続期間：10年間

無限責任組合員：フィデアキャピタル

有限責任組合員：荘内銀行
北都銀行

つるおかエコファイア供給 グリーン電力証書の利用開始



- 鶴岡市ごみ焼却施設（愛称：つるおかエコファイア）がバイオマス発電により供給するグリーン電力に含まれる環境価値を、証書発行事業者（八千代エンジニアリング株）が第三者認証機関（一般財団法人日本品質保証機構）の認証を得て「グリーン電力証書」として発行し、地域事業者販売しています。自治体の新たな収益源として注目されるとともに、利用企業にとっては自社のカーボンニュートラル促進につながるものです。
- このたび荘内銀行は、鶴岡西支店の1年間の消費電力に由来するCO₂排出量相当分をグリーン電力証書によりオフセットすることといたしました。証書購入代金は、鶴岡市において地域課題解決のために活用され、環境価値の地産地消につながるものです。自治体のグリーンセンターから創出されるグリーン電力証書を同市内の金融機関が地産地消する事例は、全国初となります。

地域の脱炭素を支援 フィデアエナジー 営業開始

- 2024年11月に銀行業高度化等会社として設立した「フィデアエナジー株式会社」は、2025年6月より電力小売事業を開始いたします。
- フィデアエナジーは、風力発電など再生可能エネルギー由来の電力を活用した電力小売事業に取り組むことで、地域の脱炭素化、地域経済活性化に積極的に貢献してまいります。
- 北都銀行及び関連会社への電力販売からスタートし、2026年度には地域の一般事業会社等向けの電力小売りを開始することを計画しております。

